

来年度は、3日分の食事メニュー作りに着手し必要な備蓄品などについても検討を進めていきたい。
安心安全メールの加入率を上げるため、『行事の中止や延期について』『泊を伴う行事の簡単な様子や
帰校予定時間のお知らせ』『感染症の情報』等を新たに配信内容に取り入れた。

学校防災アドバイザー事業に参加することで、事業継続計画（BCP）の見直しのポイントや通学バス
の避難場所の検討、地域との横のつながり等の課題が明らかになった。来年度もこの事業に申請し、地
域とともに、災害に強い学校をめざしていきたい。

（委員）課題にあげられている『連絡体制の構築』に対しては今後どのように取り組んでいく予定か。

（事務局）安心安全メールへの加入者を増やすことを考えている。登録日などを設定し、機械操作が苦
手な人も一緒に登録することができるような機会を設けていきたい。

（委員）注入用のミルクや薬品等、医療的ケアが必要な児童生徒の備蓄品はどのようになっているか。
普通食を食べることができない人が困るのではないか。実際、阪神大震災では困ったため。

（事務局）現在は、個々の対応に任せている状態（非常用持ち出し袋）。

（委員）購入して学校に備蓄する以外に、公立病院等から災害時に薬剤などを譲ってもらえるような連
携を普段から作っておくことはできないか。校医や母子センター等と繋がっておくのもよいかもしれ
ない。栄養剤等があることで、地域の高齢者などが避難してきた際にも活用することができるのでは
ないか。

（委員）コロナウイルスに対して、学校として対策していることはあるか。

（事務局）インフルエンザと同様に、まずは教員が学校にウイルスを持ち込まないための手段として、
着替え、手洗い、マスクの着用を徹底している。また、感染症の情報をメールなどで保護者に知らせ
るようにしている。研修、集会、競技大会等の大きな行事も中止になり始めている。

（委員）状況が、刻々と変化している現状なので、困ったことや判断に迷うことがあれば、すぐに教育
委員会へ問い合わせ、学校と教育委員会との双方でやり取りしながら進めてほしい。

（委員）除菌の他に、除ウイルスができる消毒薬がある。一度散布すると、5日程度の効果があり、学
校現場でも使用しやすい物と思われるため、紹介します。

また、使用しているマスクの外側が不潔になるため、一度外したマスクを保管できるようなマスクケ
ースの活用もおすすめです。

（委員）防火扉の開閉や不審者が校内へ入ってきた場合の対応なども、どこかの機会に確認できる場が
あるといいのではないかと思います。

④羽曳野市立羽曳が丘小学校・松原市立松原東小学校との協働研究について（リーディングスタッフ）

支援学校のセンター的機能の一環として、地域の支援力の向上につながる取り組みを2件実施し
た。1件目（羽曳野市）は、支援学校からビジョントレーニングの提案を行い、小学校で3か月間ト
レーニング実施していただき、トレーニングの実施前後で児童の視機能の評価を行った。特に、目の
動きが悪い児童にはトレーニングが効果的であったことがわかった。2件目（松原市）は、支援を必
要とする児童の困り感や支援方法について事例検討を実施することで、支援教育に対する理解を深め
ることができた。次年度も継続実施を考えている。

4 協議

① 令和元年度 学校評価について
資料配布にて報告。詳細は割愛。

② 令和2年度「学校経営計画」について（竹森教頭）

令和2年度の学校経営計画の案について報告した。

追加：特別支援教育の専門性と授業力向上を基盤とした学校力の向上

（3）教職員の心身ともに健康で働くことができる職場環境づくり

『時間外勤務時間の縮減』を追記。

5 協議のまとめ（会長）

閉会

（以上）